



三つ柏

— MITSU KASHIWA NO.11 —

令和3年6月21日発行

ゲストティーチャーは担任よりも強し

～4年ネギの苗の植え付け

農園の一畝が空いているなあと思っていたのですが、11日、ついにネギが植えられました。「先生、鍬で、畝の真ん中を掘ってね。」というゲストティーチャーの指示で授業は始まりました。お願いして来ていただいたし、ネギも寄付してもらったし、何より「ゲスト」と付くのですから、担任は何でも言うことをききます。慣れぬ手つきですが頑張りました。ゲストティーチャーも子どもたちにもこやかにその様子を見ていました。その後、どんなことも自分でやってみたいという長所をもつ4年生は、短時間のうちに作業を終えました。

ネギが苗ごとに紙で巻かれてつながっていること、その紙は土の中で溶けることを知りました。水やりはいらぬことも知りました。きっと草取りを頑張ることでしょう。

ゲストティーチャーのKさんご夫妻、ありがとうございました。



目指せ 8020(ハチマルニイマル:80才で歯を20本のこそう運動) ～5年 歯磨き教室～

今の子どもたちの健康面で最も優れているところは、むし歯が少ないことではないでしょうか。私の子どもの頃は、むし歯が10本以上という子が珍しくなくて、前歯の左右が欠けたいわゆる「味噌っ歯」の子も多かったです。今の子どもたちの歯がいいのは、幼児の頃から続く歯磨き指導のおかげです。(保護者の皆様も仕上げ磨きを頑張ってくださいましたことでしょう。) 歯医者さんに行くと、還暦を迎えた私も指導を受けるぐらい、全世代に徹底されています。

というわけで、白岩小でも養護教諭を中心に歯磨き指導が行われています。18日は5年生の番でした。毎年行っているのですが、5回目ですが、子どもたちは始まる前からとても楽しみにしていました。赤く汚れが残っているところを見て、「きゃー」と騒ぎはしましたが、一生懸命にブラッシングして、汚れをとっています。



先生の話聞くべき所は、しっかり聞いているのも立派でした。きっと歯磨きのスキルが高まるでしょう。

得てしてこの年頃になると、回りを過剰に気にしてしまい、自由に行動できなくなることもあるのですが、歯磨き教室の様子を見てみると、子ども同士が楽しく声を掛け合うよい集団だなあと思いました。担任は、「まとまりがあって、よくない行動については注意し合えるよい子どもたちです。」と言っていました。なるほど、その通りだと思いました。